



ベトナム情報レポート（2021年9月30日）

（公財）大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク  
株式会社NCネットワーク

9月下旬にハノイ、10月1日にホーチミンの規制緩和が行われました。ゼロコロナからWithコロナへの生活様式に向かうということになります。オフィスへの出勤は全体の50%、レストランは持ち帰りのみ、人が集まる場合は10人以下、他サービス業は再開となるほか、公共交通機関は段階的に動かしていくようです。

国民感情的にはもうこれ以上は耐えられない状況で、生活困窮者がかなりいると言われています。また、EUの経済団体が、これ以上厳しい制限が続くようならば、撤退も止む無しといった声明を出しています。

確かに厳しい規制はコロナ抑制に効果があったと思いますが、製造業の従事者が工場から出られない状態が3か月も続くと身も心も疲れ切ってしまうようです。

ワクチンを2回接種した人の割合は国内で十数パーセントですが、ホーチミンは50%を超えてきました。しかし、この規制解除で、今まで市内から出ることができなかった地方出身者が一気に地元に戻っています。多くの理由は大都市で生活できない状況なので、とりあえず家のある田舎に戻るといったものです。幹線道路ではバリケードが建てられ、地方行きを阻止していたのですが、ちょっとした諍いもあり次の日には開放されたようでした（実際は省を跨ぐ移動はまだ規制が掛かっています）。

早速この規制解除で、憂さ晴らし半分、多くのバイクが久しぶりに街に繰り出し始めました。私もその一人でしたが、街に出てみるとつぶれてしまった店、レストラン、ホテルがあり寂しい気持ちになりました。

以前の活気が戻るには、Withコロナで経済を回すしかないですが、海外の行き来がいつ通常化するかに大きくかかってくると思います。